



脚本/監督 藤井道人

PROFILE／1986年生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業。大学卒業後、2010年に映像集団「BABEL LABEL」を設立。伊坂幸太郎原作『オー！ファーザー』（2014年）で商業デビュー。以降『青の帰り道』（18年）、『ダイヤモンド』『新聞記者』（19年）、『宇宙でいちばんあかるい屋根』（20年）、『ヤクザと家族 The Family』（21年）、『余命10年』（22年）、『ヴァレージ』『最後まで行く』（23年）、『パレード』（Netflixオリジナル）『青春18×2 君へと続く道』（24年）など精力的に作品を発表。『正体』（24年）は第48回日本アカデミー賞にて最優秀監督賞含む12部門13の優秀賞を受賞ほか、映画賞を多数受賞。2025年にはNetflixシリーズ『イクサガミ』の世界独占配信を控えている。

自分以外の誰かのことを考えて生きる大切さが伝わって、観た人がその心を持って帰る体験になってくれたら、この映画は報われると思っています。

——撮影時の思い出や印象に残っている出来事を教えてください

輪島の撮影からはじまり、富山の皆さまにも大変お世話になった撮影でした。ロケ地の皆さまエキストラの方々もとても優しく、地元の方々との縁が生まれた撮影でした。

また、輪島の景色は美しく、海に落ちる太陽、静謐に降る雪を纏う山々の景色に感銘を受けました。富山はFC（富山県ロケーションオフィス）の動きが素晴らしく、これからも必ず富山県で撮影がしたいと思いました。

——特にこだわりを持って撮影されたシーンを教えてください

全てのシーンに、木村大作カメラマンの魂が宿った美しい風景が映っております。その中でも、輪島の港から船を出して館さん演じる三浦が漁に出るシーンはとても気に入っています。

——印象に残っているロケ地などを教えてください

輪島の海もさることながら、氷見の海も素晴らしかったです。

——この映画に携わるまで、ロケ地のことはご存知だったのか教えてください

知りませんでした。木村大作カメラマンが、沢山のロケ地を教えてくださいました。富山で映画を撮り続けた木村さんだからこそ見つけられたロケ地だと思います。

——「ここで映画を撮ろう」と思った理由や決め手を教えてください

これも、木村さんのアイデアです。厳しい



寒さの中で生きる、小さな一つの光を撮れるのは北陸地方だ!!と豪語されていたので、信じました。そして、信じて良かったと心から思いました。

——監督の視点から見た富山・輪島ロケの魅力をお聞かせください

先述した景色もさることながら、フレキシブルなロケーション対応は、他県に類を見ないほどだと思います。実際の刑務所や養護施設で撮影ができたのは初めてのことでした。

——ロケ地滞在中に、訪れていた場所や飲食店などがあれば教えてください

震災で無くなってしまった、朝市の「わら庄」にはとてもお世話になりました。富山では、「金泉」というお店のブラックラーメンが大好きでした。

——富山・輪島滞在中に特に感激や感動した出来事があれば教えてください

撮影終盤に、雪が降り始めたのですが、180度景色が変わったことに感動しました。

——富山・輪島の皆さまへメッセージをお願いいたします

撮影でお世話になった、富山、輪島の皆さまの一日も早い復興を祈ると共に、この映画が、映画として、娯楽として、皆さまの一つのひかりになることを願っております。

皆さまにまた会える日を楽しみにしております。映画の応援、何卒宜しくお願いします。

港のひかり

A LIGHT IN THE HARBOR

主演：館ひろし×監督：藤井道人×撮影：木村大作



館ひろし
眞栄田郷敦
尾上真秀
黒島結菜
齋藤工
ピエール瀧
一ノ瀬ワタル
MEGUMI
赤堀雅秋
市村正親
宇崎竜童
笹野高史
椎名桔平
脚本・監督：藤井道人
撮影：木村大作
音楽：岩代太郎
美術：原田満生
企画：河村光庸

〔公開記念〕
富山県＆輪島市
ロケ地マップ

製作：吉村文雄 金子保之 藤田晋 浅井武士 四宮隆史
プロデューサー：角田通明 小杉宝 溝島三穂子 山崎智広 行実良 市山尚三
制作担当者：吉田幸之助 助監督：逢坂元 録音：中里崇 編集：古川達馬
照明：佐藤俊介 装飾：佐原敦史 衣装：宮本まさ江 キャスティング：田端利江
美術補佐：堀明元紀 撮影補佐：大和太
ヘアメイク：西田美香 音響効果：勝俣まさとし 整音：浜田洋輔
題字：赤松簡構造 漁業指導：東海勝久 宣伝プロデューサー：河野和孝
「港のひかり」製作委員会：東映 東映ビデオ サイバーエージェント 館プロ スターサンズ
Lat-Lon 北陸朝日放送 石川テレビ テレビ金沢 北陸放送
制作プロダクション：Lat-Lon 館プロ 配給：東映 スターサンズ
2025年/118分/カラー/ビスタ/5.1ch ©2025「港のひかり」製作委員会 ㊞ ㊞ ㊞

11.14(金)
minato-no-hikari.com

少年は男から”光“をもらい、男に”人生“を与えた。

[公開記念]
富山県&輪島市
ロケ地マップ

映画ロケ地を巡り、
映画を彩ったシーンを
追体験しよう！

LOCATION MAP



露店で幸太が三浦に
キーホルダーを買うシーン
朝市通り【輪島市】



毎朝8時から海産物や野菜、輪島塗など
民芸品を扱う露店が立ち並んだ。



大己貴神 大山咋神が御祭神。



能登の大自然の調いを満喫できるオー
シャンビュウ。海岸に沈む夕日は絶景！

私有地への無断立ち入りはご遠慮ください。
ロケ地へ訪れる際は、騒音やゴミのポイ捨てなどがないように、マナーに十分ご注意ください。

刺し網漁のシーンや三浦が出入船、
水揚げした魚を運ぶシーンなど
大沢漁港【輪島市】



大沢町にある漁港で間垣とのコントラスト
が美しい。

三浦が家の中に入るシーン
上大沢町内【輪島市】



大沢町とともに間垣の集落として知られる。



三浦と荒川が話すシーンや
幸太の通学路など
田中屋旅館【輪島市】



間垣の里に位置する海辺の宿。



三浦と田辺が話すシーン、
三浦が覚悟を決めて立つシーン、
エンディングシーンなど
大沢町内【輪島市】



竹を用いた垣根である間垣の集落は重要
文化的景観にも指定されている。



番外編 ご協力いただいた
撮影スポット



出所後の三浦が生活する住宅
富山県内の市営住宅



河村会本部
金剛薬品(株)の所有施設



三浦が自首する警察署
高岡警察署【高岡市】



2012年の設定で歴史のある警察署として
ロケ地に決定。

八代がマフィアと取引した場所
海老江漁港【射水市】



漁港内の小型船をお借りして間の取引を
するシーンを撮影。

若き三浦が河村組長と
釣りをする回想シーン
宇波漁港【氷見市】



防波堤で釣りをするシーンを撮影。赤い灯
台が印象的。

河村組長の邸宅
濱元家【氷見市】



正門から玄関、仏間、大広間をお借りして飾り
込み、厳かな霊の儀式や一周忌シーンを撮影。

過去を捨てた元ヤクザの漁師と目の見えない少年との十数年を描く、
年の差を超えた友情と再会のものがたり。

『正体』で第48回日本アカデミー賞最優秀監督賞を受賞した若手随一の実力派である藤井道人監督と、数々の名作を手がけてきたカメラマン・木村大作。唯一無二の存在感に人生の涙みと凄みを滲ませる主演の館ひろしが元ヤクザの漁師・三浦を演じる。全編35mmのフィルムカメラで撮影された映像は、登場人物の境遇や心情を物語るような自然の情景と、激しくも美しい雪の季節を映し出す。

八代が警察に追われるシーン
桜橋電車通り【富山市】



電気ビル前〜マッテンホテル前の通りで撮
影。八代が警察に追われるカーアクション
は必見！

幸太が薬物取引を
取り押さえた場所
松川(華明橋)【富山市】



桜の名所でにぎわう松川。12月の冬晴れ
の朝、冷たい水に耐えながらも川の中に入
るシーンを撮影。



雪の中のクライマックスシーン
新湊マリーナ【射水市】



本物に近い雪を表現するため多くの特殊
機材を使用して撮影。積雪の演出には塩
を使用して臨場感たっぷり。

三浦が収容される刑務所
富山刑務所【富山市】



実際に使用されている居室や作業場、面
会室にて撮影。特徴的な刑務作業である
「神興製作」にご注目！

三浦が運転代行で待機する繁華街
桜木町【富山市】



富山市中心地にある歓楽街。営業時間
外に店舗や看板の灯りを点けてもらうなど、
演出にご協力頂いた。

幸太が勤務する警察署
富山南警察署【富山市】



2024年新築の警察署設定でロケ地に決
定。



炉ばた焼き「浜っ子」
三浦が行きつけの居酒屋
浜っ子【富山市】



50年を超えて地元で愛される人気の炉端
焼き居酒屋。カウンター席をお借りして撮
影。

幸太が目の手術を受ける病院
富山赤十字病院【富山市】



富山市にある総合病院。実際の手術室
や眼科診察室、空き病棟をお借りして撮
影し、医療指導でもご協力頂いた。

幸太と大黒が職責するバスターミナル
富山駅前【富山市】



富山地方鉄道の路線バス貸切やバス乗
り場変更など、多くの方のご協力のもとで
ナイト撮影が行われた。



笹野高史 荒川定敏役
三浦と幸太を見守る漁業
組合の会長



市村正親 田辺智之役
マル暴として三浦とも対峙
していた元刑事



一ノ瀬ワタル 大黒浩役
青年・幸太が働く警察署の
先輩刑事



斎藤 工 八代龍太郎役
石崎派の河村組組員



尾上真秀 大森幸太役
(少年期)
事故で両親を失い、自身も視力
を失ってしまった不遇の少年



館ひろし 三浦誠一役
過去を捨てた元ヤクザの
漁師



椎名桔平 石崎剛役
かつて三浦が所属してい
た河村組の組長



宇崎竜童 河村時雄役
元・河村組の組長



MEGUMI 大森美和子役
幸太の叔母



ビエール瀧 大塚タ斗役
三浦を恩人と慕う河村組
の組員



黒島結菜 浅川あや役
青年・幸太の恋人



眞栄田郷敦 大森幸太役
(青年期)
刑事。少年時代に三浦に
救われた過去がある。

CAST

出所した三浦は、静かに暮らすことを望み、
地方の運転代行業者として働いていた。
幸太とは手紙のやり取りは続いており、お
じさんに会いたいと思いつながら、幸太は三浦に
憧れて刑事になっていた。そんな中、警察の資料
から、おじさんの正体を知って葛藤する幸太。
それでも会いたいと願った幸太は居場所を突き
止め、三浦と再会する。しかし、彼らの出会いは
かつての因縁を呼び起こしてしまうことに。ヤ
クザに狙われる三浦と幸太。二人ヤクザに立ち
向かう三浦。そして、幸太も「おじさん」のため
にヤクザの元へ向かっていた。

— 12年後 —
自分のことを「おじさん」と慕い、一人の人間
として接してくれた幸太に救われた三浦は、か
つて敵対していたヤクザの取引を襲い、お金を
盗み、幸太の目を治療することに。そして、三浦
は幸太に二通の手紙を残して刑務所へ。遠くへ
行ってしまった「おじさん」を見ることなく幸太
は孤児院へ入所する。

ある日、三浦は通学路で白い杖をついて歩く
少年の幸太(尾上真秀)を見かける。弱視を患
う幸太を、同級生の子どもたちは、わざと転ば
せて笑っている。幸太は両親をヤクザ絡
みの交通事故で亡くし、彼を引き取った叔母は
ろくに育児もせず、その交際相手からも暴力
を振るわれていた。事情を知った三浦は、孤独
な幸太にどこか自身の姿を重ね、自分の船に
乗ってみるか誘う。

STORY

